

「虚の立体視」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

高崎市倉渕の田植え前の田んぼ。その真ん中にある地蔵堂。私はこのほとんど完璧に水面に反映した画像を見て、不思議なことに気づいた。



こちらが見た目の正立の画像。何も違和感がない。



こちらは上の画像を逆さにしたもの。道が突き出した不思議な世界だ。「虚の世界」のように見えるのだ。

このことは、「立体視画像」を作ってみると、非常によくわかる。「立体視画像」には、「平行法」が得意な人用と、「交差法」が得意な人用がある。いずれも「正」(実像)と「虚」(倒立像)をつくってみた。いずれも2~3ページ目に拡大画像を掲載した。

「正」のほうは、立体視に成功すると、本物の風景のように奥行きを感じる画像に見える。「虚」のほうは、道が水面から突き出して見える。もしかすると「虚数世界」というのは、こんな風景の中の世界なのかも知れない。



(正の平行法立体視画像)



(虚の平行法立体視画像)



(正の交差法立体視画像)



(虚の交差法立体視画像)





(正の平行法立体視画像)



(虚の平行法立体視画像)





(正の交差法立体視画像)



(虚の交差法立体視画像)